

## 今回のテーマ：“乳がん・減量手術・血液疾患・がん相談”



横井一樹  
外科統括部長

### 乳腺内分泌外科

海外や国内の芸能関係の方の乳がんとの闘いがメディアで紹介されてから、一般市民の方に高い関心を呼んでいる乳がん。この乳がんの早期診断・治療に関しての当院の取り組みを紹介します。

ご存じのようにマンモグラフィは低線量の乳房X線画像で、乳癌の早期発見に有用です。しかし周囲の組織と重なった場合に重要な病変を描出できないという欠点がありました。トモシンセシスはこの欠点を補うべく開発され、2D画像に3D画像を加えることでマンモグラフィ画像の情報量、特に微細な辺縁所見の認識と石灰化病変の分布に関する情報量を飛躍的に増加させることができます。

具体的には乳房を圧迫したままX線管球を移動・回転し複数の角度で画像撮影を行い、収集した画像を再構築することにより、1枚の画像であるいは連続的にシネモードで表示します。全国的にもまだ導入されている施設は少数ですが、感度・特異度の向上に関する報告が多数みられます。

当院では2014年にデジタルマンモグラフィーを最新型に更新した際にトモシンセシスを導入、以後積極的に活用しています。



トモシンセシス機能を持ったデジタルマンモグラフィー

当院での具体例を見てみましょう。US・MRIと組織診断で右上部の乳癌と診断されている症例です。

図1では正常乳腺組織に隠れて見えない乳癌の腫瘤影(黄色矢印)が、図2のトモシンセシス画像ではくっきりと描出されています。

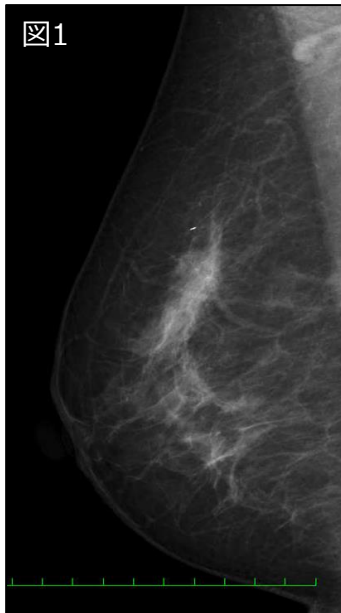


図1 通常のデジタルマンモグラフィー画像

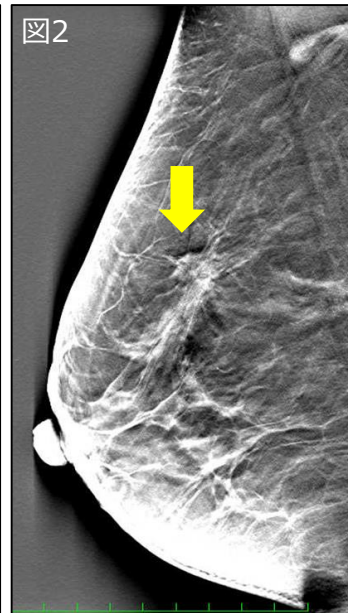


図2 トモシンセシス画像

当院は2次検査機関として検診マンモグラフィ異常の精査も行っていますが、トモシンセシスは特にFAD(局所的非対称性陰影)カテゴリ-3の鑑別に威力を発揮しています。今後症例の蓄積により一層診断率の向上を目指したいと思います。

乳腺外来担当医師：  
横井一樹(外科統括部長) 松本理佐  
石井美砂子(非常勤)

ご予約は  
毎週水曜日午後の松本医師(乳腺経過観察外来)、  
毎週金曜日午前の横井医師(乳腺内分泌外来)  
にお願いいたします。  
お急ぎの際には通常の外科新患外来でも対応可能  
ですので、是非ご紹介ください。

# 岡崎市民病院 減量手術チームを設立しました



石山 聡治  
内視鏡外科統括部長

## 内視鏡外科



病的肥満の患者さんの平均寿命は明らかに短く、体重が理想体重の2倍をこえる患者さんは、肥満ではない患者さんの2倍の死亡率であり、糖尿病や心臓発作による死亡の危険率は5倍から7倍といわれています。

このため減量手術は全世界で年間50万件以上と広く行われています。日本での年間手術件数は200件程と現在は欧米と比べると決して多くはありません。しかし近年、高度肥満糖尿病患者に対する手術後の95%を超える改善率や、肥満患者の死亡リスクを1/9に下げるといった報告など様々な有効性の実証がなされてきており、日本でも広まりつつある治療法です。

現在保険診療で可能な手術術式は2014年4月から収載された腹腔鏡下スリーブ状胃切除のみです。

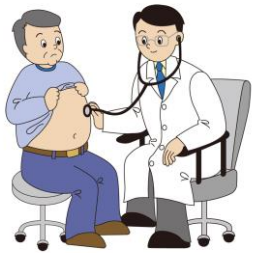


この手術は胃の大弯側の大半を切り取り、胃をバナナ1本ぐらいの大きさにして食事摂取量を制限する手術です。また同手術を腹腔鏡下に行うことは腹壁などの正常組織の破壊が最小限にすみ、手術侵襲が大きく軽減されるため減量手術が急激に広まりつつある要因となっております。

しかし残念ながら今まで東海地方でこの手術を行う施設はありませんでした。そこで今回、当院で減量手術をできるようにいたしました。

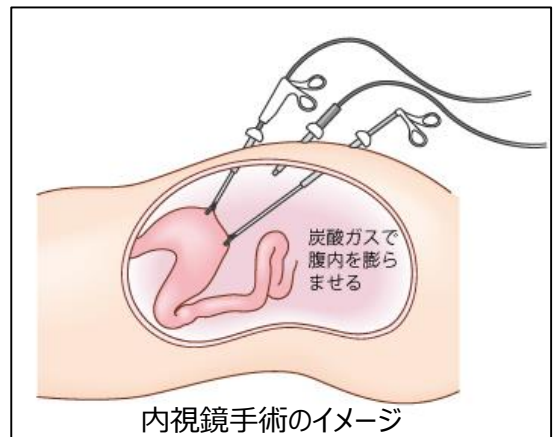
当院は実施手術症例数においてまだ施設基準を満たしていないため保険外診療外診療となりますが、手術および通院にかかる費用は保険治療とおおよそ同等の40万円程度に設定しております。また安全面では、日本肥満症治療学会の推奨するセミナー、実習をへて、手術導入には既導入大学のエキスパートドクターのバックアップのもと行っております。手術担当は十分な内視鏡手術経験を有する日本内視鏡外科学会技術認定医取得者に限定しており、院内の倫理委員会の承認を得た実施要項に基づいて治療は行われます。

当院でこの手術を受けるメリットとしては、急性期総合病院であるため、麻酔科、循環器内科、糖尿病内科をはじめ、各専門分野からなる専門の減量手術チームによる周術期の安全性の確保や術後の長期フォローアップがあります。



手術適応はBMIが35以上で、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの肥満由来の合併症を1つ以上患っている方です。年齢は原則として18歳から65歳までです。

当該患者様で、一度肥満手術についての話を聞いてみたいと言われる方がもしいらっしゃいましたら、水曜日 13時～15時の減量手術専門外来担当 内視鏡外科統括部長 石山聡治医師に是非ご紹介よろしくお願いいたします。





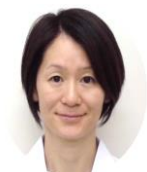
## 血液内科



市橋卓司  
医局長



岩崎年宏  
血液内科統括部長



新美圭子  
血液内科部長

造血器腫瘍の治療はダイナミックに変化しています。慢性骨髄性白血病の治療におけるイマチニブの登場は幹細胞移植ができなければ、急性転化に怯えて過ごす事になる患者さんに大きな希望をもたらしました。今では第2世代の薬も登場し、ますます幹細胞移植を選択する必要がなくなっています。

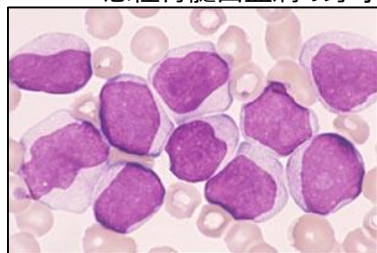
治らない病気であった多発性骨髄腫でもサリドマイドなどの新規薬剤の登場により、治療成績は大きく向上しています。

さらには、いままでヒドロキシウレアしか無かった本態性血小板血症にはアナグレライドが登場し、骨髄線維症にはルキソリチニブが使えるようになりました。

当院血液内科は常勤3名、非常勤2名で、こうした治療のイノベーションをいち早く患者さんにお届けする努力を続けています。

平成26年の主な新規患者さんは悪性リンパ腫26名、急性骨髄性白血病11名、骨髄異形成症候群12名、多発性骨髄腫5名、慢性骨髄性白血病4名、慢性リンパ性白血病3名、骨髄増殖性疾患7名と造血器腫瘍を中心に多彩です。

急性骨髄白血病の芽球



外来スタッフ

外来診察室は2013年に新設された西棟1Fに移動し、処置室もひろく快適な環境になりました。今後の高齢化の進展とともに骨髄異形成症候群などの血液疾患の罹患患者数の増加が予想されています。このような患者さんの増加にも十分対応できる設備です。



病棟スタッフとともに

入院病棟は見晴らしのよい最上階の8階北にあり、グリーン室を7床もつグリーン病棟を併設しております。急性白血病や再生不良性貧血などの治療や造血幹細胞移植治療に際し患者さんに安全、安心な医療を提供できる環境にあります。

血液疾患が疑われる患者さんが見えたら、ぜひご紹介下さい。不明熱の10%前後が悪性リンパ腫による腫瘍熱とも言われています。不明熱、リンパ節腫脹などの患者さんをご紹介いただければ当科で対応させていただきます。

### 血液内科外来担当表

|    | 月曜          | 火曜          | 水曜           | 木曜          | 金曜          |
|----|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 午前 | 新美<br>(新/再) | 岩崎<br>(新/再) | 鈴木*<br>(新/再) | 市橋<br>(新/再) | 岩崎<br>(新/再) |
|    |             |             | 平野*<br>(新/再) |             |             |
| 午後 | 市橋<br>(再)   | 岩崎<br>(再)   |              | 新美<br>(再)   |             |

\*非常勤





# がん相談支援センターのご紹介

岡崎市民病院では、2014年4月から「がん相談支援室」を開設し、2015年4月から「がん相談支援センター」と名称を変更しました。

場所は患者さんや家族の方に気軽に利用して頂けるよう1階売店前で、時間は平日9時～16時です。



がん相談支援センター入口

がん相談支援センターでは、山根がん看護専門看護師と医療ソーシャルワーカーが、がんという病気、治療、今後の療養生活や治療費など、患者さんやご家族のご心配、お困りになられていることなど、お話を伺いながら状況を整理し、それぞれの方にあつた向き合い方を考えていくお手伝いをしています。セカンドオピニオン、緩和ケアや在宅での介護などのご相談もお受けしております。



「大腸がんを知ろう、みつけよう、なおそう」イベント

相談支援センター内には、がんに関する書籍やパンフレットなどがあり、インターネットによる情報検索ができるようになっております。

患者さんやご家族の方が、がんについての理解を深めて、今後の治療を選択して頂けるように支援しています。



がん相談支援センター室内

山根美代子  
がん看護専門看護師

去る11月12日に、「大腸がんを知ろう、みつけよう、なおそう」と題したイベントを院内で開催しました。約140名の方に参加して頂き、大腸がんクイズラリー、パネル展示で大腸がん検診や治療などの知識を深めて頂きました。多くのみなさんから、ご好評を頂きました。

患者さんやご家族が不安や悩みなどを気軽におしゃべりする場として「がん患者サロン」や「女性がん患者サロン」、NPO法人ミーネットの協力を得て、がんを体験した方が自分の経験を生かしながら、患者さんや家族のお話を伺う「がん患者相談会」を行っております。どの会も予約不要で無料です。患者さんやご家族であれば当院の通院の有無は問わず、1階外来治療センターカンファレンスルームで開催しております。ぜひ、患者さんにご紹介ください。

### 【患者サロン等の開催予定】

|            |                       |
|------------|-----------------------|
| がん患者サロン：   | 偶数月の第1火曜日 13:30～14:30 |
| 女性がん患者サロン： | 毎月の第3火曜日 13:30～14:30  |
| がん患者相談会：   | 奇数月の第1火曜日 10:00～12:00 |

この広報誌に関するご意見・ご要望はFAXにて地域医療連携室にお寄せください。



岡崎市民病院  
OKAZAKI CITY HOSPITAL

岡崎市民病院 地域医療連携室

業務時間

平日 午前8時30分～午後5時

土曜日 午前9時～午後1時

(但し、祝日・12/29～1/3はお休みさせていただきます)

TEL (0564) 66-7262 (業務時間外は留守番電話になります)

FAX (0564) 25-6720

